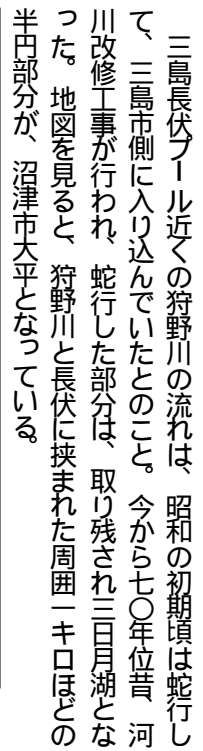


# 長伏に入り込む大平の飛び地 狩野川沿いの三日月湖 野鳥の楽園に



人影もなく、静かな水面をたたえる三日月湖 8月27日

三島長伏プール近くの狩野川の流れば、昭和の初期頃は蛇行して、三島市側に入り込んでいたとのこと。今から七〇年位昔、河川改修が行われ、蛇行した部分は、取り残され三日月湖となった。地図を見ると、狩野川と長伏に挟まれた周囲一キロほどの半円部分が、沼津市大平となっている。

一見すると、狩野川を飛び越え、三島市長伏に沼津市大平が飛び込んでいる格好だ。この三日月湖は長伏を流れる松毛川につながっている。一面田園の広がるその地の周囲は、幅三〇メートルほどの三日月状の池で囲まれ、池の周囲はこもりとした樹木で覆われている。遠くに三島市街が見渡せるが、周辺に人影はなく、街の喧騒から隔絶された感じがある。

湖面は、あたりの樹木が陰を落とし、うつ蒼としているが、鴨の群れが泳いでいたり、梢に鷹と思しき鳥が獲物を狙っているのを見かけられ、さながら野鳥の楽園である。

現在、日本野鳥の会沼津支部の会員が、三日月湖の保全と野鳥の保護区指定を呼び掛けている。

この三日月湖には年間百種近い野鳥が観察されるとのこと。周囲は、春はレンゲ畑が一

面に広がり、田植え時期には狩野川の堤や湖に多くの昆虫類が繁殖、それを求めて野鳥もまた集まる。田植後には、今では希少なホウネンエビも見られるとのこと。しかし、湖は富栄養化が進み、ホテイアオイが異常に増殖し、湖面を覆っている。また、池には外来種のブラックバスやタイワンドジョウも見られ、小魚を食べるカワセミヤマセミを守るためにはそれらの外来魚の駆除も必要とのこと。

三日月湖の水は流れが無く、汚れやすいため、近くの松毛川から清流を取り入れることも必要だという。

## 三島自然を守る会 源兵衛川の水源で 三島市に要請書提出

「すずおか県民だより」七月一日号に「源兵衛川は楽寿園の湧水を水源・・・」の記事が載った。「三島自然を守る会」の関係者がそれを読み、驚いて静岡県の担当者へ質したところ、三島市発行の資料に基づいて書いたとのこと。

「自然を守る会」が七月十七日付けで出した要請書によると、源兵衛川の水源は東三島工場の排水(冷却水)であり、湧水ではないとの話である。

このほり旗を立て、東三島工場までデモ行進する騒ぎに発展した。その結果、中郷地区の農業用水を確保するために、事業費二七二万円を投じて東三島工場の排水(冷却水)を毎秒一立方メートル源兵衛川最上流部に導水する工事をした。

このことを知る三島市民は少なく、源兵衛川が富士山の湧水であると信じている市民が多い。その主な原因は、三島市が、源兵衛川の水源が東三島工場の排水に由来することを明確に示していないからと、要請書はそうした市の姿勢を改めるよう求めている。

## 北上プラザに 図書館設置要望書

九月一日、北上プラザがオープンした。当日、午後一時より市長をはじめ多くの関係者が出席して開館式が行われた。

この北上プラザは、長い間、北上地区住民の念願するものであった。ただ、ここには図書館が無い。市の担当者からは「図書館を設置する財政的余裕がない」とのことである。しかし、北上地区の住民でこのプラザに図書館設備の無いことを知らない者は多い。

去る七月末、徳倉区長名で市長宛に図書館設置の要望書が出された。内容は次のとおり。

『北上プラザ図書館  
設置についてお願い。』

雇用が始めから行なわれていた事等を考えると、現在盛んに喧伝されているNPO(非営利活動法人)そのものであり、その先駆的な市民団体としての意義も大きい。

伊豆市民劇場の現会員数は六六六名、年六回の例会(公演)を行っている。来年(二〇〇八年五月)には創立五〇周年を迎える。

事務局 吉田

北上文化プラザ開館にあたって徳倉区及び北上地区の住民特に学校関係のPTAの父兄の方々の間で図書館に関して関心が高く話題になっていました。北上文化プラザ建設計画時は図書館の設置も計画の中に入れていたものと考えますが、現状は図書コーナーとなり、実現されませんでした。周辺住民には変更内容がはつきりと知られていないため、いまだに図書館が出来るかと信じている人が少なくありません。

北上地区には移動図書館「シタラ」が巡回しているが平日の巡回であり学生や仕事を持つ者は利用出来ません。生涯学習センターもありますが平日学校が終わってから行くのは困難です。以上の様な意見が周辺住民・PTA関係の人達から要望がたくさんあります。小池市長様には要望内容を整理して頂きまして今後の対応を考慮して頂き近い将来設置して頂けるよう心より要望いたします。

要請書は、徳倉区長以下、徳倉第六、第二、北上中PTA会長、北上小PTA会長の連名で提出されている。(次号に続く)

## 川柳・俳句・短歌

・成田山真夏に詣る人はなし  
・炎天下風も通らぬ茶屋の隅  
・冷水で噴出す汗を更にしたし  
・小言いつ女房の後をトボトボと  
・旅館では押し込めるだけ口に入れ  
・安旅館さきみキヤベツは白ばかり  
・出る時は忘れず詰め込むバスタオル  
・炎天でシャーシャー蝉声が出す  
・終末を悟りし蝉は鳴きや止まず  
・せつなさは夏の終わりの夜の風  
・野良猫が庭に住みつき餌をねだる  
・遠くより猫が目をむき眺める焼き鳥の串放り投げても  
・やせ細り土をほじくり餌を探る母猫の辛さしみじみ思つ  
・干からびた蝉が腹向け死んでいる去り行く夏の短き命  
・木漏れ日の落ちるまだらの石畳蝉時雨止まず想い出誘つ  
・信長の建てたる寺が西光寺西陽をよけて軒にたたずむ  
・ひぐらしの鳴く声響く境内で武者の姿を見たりと思つ

## 伊豆市民劇場

伊豆市民劇場は、昭和三十三年五月二十五日、静岡県下最初の演劇鑑賞団体として発足した。第一回例会は『野盗風の中を走る』(新制作座)。発足以前すでに三島、田方一帯には演劇愛好者の広い土壌があった。昭和二十一年には、新協劇団による『破戒』が公演されている。その後前進座、新制作座、民芸等々、プロの劇団による公演が映画館であった新日本劇場(現・三島大社駐車場)や東海劇場を会場に行なわれていた。また、アマチュア演劇も盛んであった。当時日大の学生であった北村和夫(文学座・〇七年五

月死去)が『検察官』を演じたりしたという。同時に様々な分野での文化運動のたかまりもあり、そうした文化運動のサークルや担い手を結集して「演劇を見たい」という自分達の要求を、自分達の手で実現していく演劇鑑賞団体の設立が構想された。発足時のメンバーは概ね、和二十一年には、新協劇団による『破戒』が公演されている。その後、前進座、新制作座、民芸等々、プロの劇団による公演が映画館であった新日本劇場(現・三島大社駐車場)や東海劇場を会場に行なわれていた。また、アマチュア演劇も盛んであった。当時日大の学生であった北村和夫(文学座・〇七年五

三島自然を守る会  
源兵衛川の水源で  
三島市に要請書提出

## 347回 9月例会のお知らせ 三島児童文学を語る会

暑い暑い夏でした。74年ぶりの気温40度を越す地方もあつたり、このままでは「人類滅亡」「地球崩壊」と真剣に心配された方も多かったと思います。

今月も7月に引き続いて「戦争・平和」を考える話し合いをしましょう。体験談・聞いた話など自由にお話し下さい。10月の例会ですが「小出正吾先生を偲ぶ会」が20日(土)に行われます。多数の方の参加で、会を盛り上げましょう。

記

日時：9月22日(土)13時30分～16時30分  
場所：三島市大社町防災センター研修室

<テキスト>

\* 「コスモスの花」小出正吾全集 2巻 P227  
\* 出席者の話

連絡先 三島市中央町8-8 山口 TEL 971-3348

エクソンモービル代理店  
三島屋商店株式会社  
自動車修理は 三島徳倉SS  
TEL:055-988-1705

ビーズジュエリー制作・販売  
Beads Branch 375  
お手持ちの服に合わせて  
あなただけのアクセサリを作いませんか?  
〒411-0044  
静岡県三島市徳倉876-64  
Tel&Fax: 055-988-1691 内田まで  
お気軽にお電話ください

新古美術 伊豆美術館  
金土日月・営業 10:00~17:00  
三島市谷田夏梅木 つつじが丘2000-38  
青木武士 自宅  
TEL:055(972)4213  
私のコレクションを観に来ませんか  
販売も致します  
人間国宝作品もあります!!  
(東海登山バス)市内循環・夏梅木経由  
つつじが丘上停留所から10秒

訂正とお詫び  
前号の一面記事、「市立幼稚園奨励金」は誤りで、「私立幼稚園奨励金」の間違いでした。申し訳ございませんでした。